

1. ポンプ浚渫船の場合

ポンプ浚渫船 運転 1 日 当り

就業 2 2 時間

名 称	形状寸法	単位	数 量						摘 要
			鋼D 1,350PS 型 993kW	2,250PS 型 1,655kW	3,200PS 型 2,354kW	4,000PS 型 2,942kW	6,000PS 型 4,413kW	8,000PS 型 5,884kW	
主 燃 料	重 油 A	ℓ	5,354	8,923	12,693	15,864	23,795	31,726	
船 団 長		人	$2 \times \beta$	$2 \times \beta$	$2 \times \beta$	$2 \times \beta$	$2 \times \beta$	$2 \times \beta$	2 ヲツ
高級 船員		〃	$2 \times \beta$	$2 \times \beta$	$2 \times \beta$	$4 \times \beta$	$4 \times \beta$	$4 \times \beta$	〃
普通 船員		〃	$20 \times \beta$	$22 \times \beta$	$22 \times \beta$	$26 \times \beta$	$30 \times \beta$	$34 \times \beta$	〃
損 料	運 転	時間	16						
〃	供 用	日	α						

1. ポンプ浚渫船の場合

ポンプ浚渫船 運転 1 日 当り

就業 2 2 時間

名 称	形状寸法	単位	数 量						摘 要
			鋼D 1,350PS 型 993kW	2,250PS 型 1,655kW	3,200PS 型 2,354kW	4,000PS 型 2,942kW	6,000PS 型 4,413kW	8,000PS 型 5,884kW	
主 燃 料	重 油 A	ℓ	5,354	8,923	12,693	15,864	23,795	31,726	
船 団 長		人	$2.75 \times \beta$	$2.75 \times \beta$	$2.75 \times \beta$	$2.75 \times \beta$	$2.75 \times \beta$	$2.75 \times \beta$	
高級 船員		〃	$2.75 \times \beta$	$2.75 \times \beta$	$2.75 \times \beta$	$5.50 \times \beta$	$5.50 \times \beta$	$5.50 \times \beta$	
普通 船員		〃	$27.50 \times \beta$	$30.25 \times \beta$	$30.25 \times \beta$	$35.75 \times \beta$	$41.25 \times \beta$	$46.75 \times \beta$	
損 料	運 転	時間	16						
〃	供 用	日	α						

- ※1：各労務数は、現行基準で1 ヲツ当たり 11 時間就業として計上している労務数を 8 時間当たりの労務数で計上する。
- ※2：船員供用係数（ β ）は下表を適用する。
- ※3：ここで提示する労務数及び船員供用係数（ β ）は、就業時間及び運転時間について「①通常の場合」を採用する場合に適用するもの。「②浚渫船の一時退避に伴う運転時間の補正」、「③その他の場合の就業時間、運転時間」を採用する場合は、労務数及び船員供用係数を補正するものとする。

係数ランク	船員供用係数（ β ）	
	船団長・高級船員	普通船員
1	1.25	1.25
2	1.40	1.40
3	1.60	1.60
4	1.85	1.85
5	2.05	2.05
6	2.30	2.30
7	2.65	2.65
8	3.10	3.10
9	3.75	3.75

ポンプ浚渫船 供用 1 日 当り

名 称	形状寸法	単位	数 量						摘 要
			鋼D 1,350PS 型 993kW	2,250PS 型 1,655kW	3,200PS 型 2,354kW	4,000PS 型 2,942kW	6,000PS 型 4,413kW	8,000PS 型 5,884kW	
船 団 長		人	2	2	2	2	2	2	
高級 船員		〃	2	2	2	4	4	4	
普通 船員		〃	20	22	22	26	30	34	
損 料	供 用	日	1						

ポンプ浚渫船 供用 1 日 当り

名 称	形状寸法	単位	数 量						摘 要
			鋼D 1,350PS 型 993kW	2,250PS 型 1,655kW	3,200PS 型 2,354kW	4,000PS 型 2,942kW	6,000PS 型 4,413kW	8,000PS 型 5,884kW	
船 団 長		人	2	2	2	2	2	2	
高級 船員		〃	2	2	2	4	4	4	
普通 船員		〃	20	22	22	26	30	34	
損 料	供 用	日	1						

2. 安全監視船の場合

安全監視船 運転1日当り

就業22時間

名 称	形状寸法	単位	数 量		摘 要
			FRP D 180PS 型 10.0t、132kW	FRP D 260PS 型 15.0t、191kW	
主 燃 料	重 油 A	ℓ	98	141	
高級船員		人	$2 \times \beta$	$2 \times \beta$	2ワッチ
普通船員		〃	$2 \times \beta$	$2 \times \beta$	2ワッチ
損 料	運 転	日	1		
〃	供 用	日	α		

2. 安全監視船の場合

安全監視船 運転1日当り

就業22時間

名 称	形状寸法	単位	数 量		摘 要
			FRP D 180PS 型 10.0t、132kW	FRP D 260PS 型 15.0t、191kW	
主 燃 料	重 油 A	ℓ	98	141	
高級船員		人	$2.75 \times \beta$	$2.75 \times \beta$	
普通船員		〃	$2.75 \times \beta$	$2.75 \times \beta$	
損 料	運 転	日	1		
〃	供 用	日	α		

- ※1：各労務数は、現行基準で1ワッチ当たり11時間就業として計上している労務数を8時間当たりの労務数で計上する。
- ※2：船員供用係数（ β ）は下表を適用する。
- ※3：ここで提示する労務数及び船員供用係数（ β ）は、ポンプ浚渫船の就業時間及び運転時間について「①通常の場合」を採用する場合に適用するもの。「②浚渫船の一時退避に伴う運転時間の補正」、「③その他の場合の就業時間、運転時間」を採用する場合は、安全監視船の労務数及び船員供用係数を補正するものとする。

係数ランク	船員供用係数（ β ）	
	船団長・高級船員	普通船員
1	1.25	1.25
2	1.40	1.40
3	1.60	1.60
4	1.85	1.85
5	2.05	2.05
6	2.30	2.30
7	2.65	2.65
8	3.10	3.10
9	3.75	3.75

3. 排砂管設備工__排砂管保守

排砂管保守 1日当り

名 称	形状寸法	単位	数量	摘 要
普 通 作 業 員		人	4	2ワッチ
雑 材 料				

保守要員は、普通作業員2人1組2交代を標準とし、就業22時間・2交代制の労務単価を適用する。

3. 排砂管設備工__排砂管保守

排砂管保守 1日当り

名 称	形状寸法	単位	数量	摘 要
普 通 作 業 員		人	5.5	
雑 材 料				

- ※1：労務数は、現行基準で1ワッチ当たり11時間就業として計上している労務数を8時間当たりの労務数で計上する。
- ※2：普通作業員の労務単価は、就業8時間を適用する。